

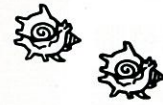
マンボウガイ

分類：中腹足目 トウカムリ科(腹足綱)

学名：*Cypraecassis rufa*

英名：Red helmet

太平洋および印度洋の亜熱帯から熱帯海域にかけての10cm以浅のところに生息する。殻は大型で15cm位、重厚堅固、螺塔は極めて低い。背面はイボ状の突起のある4条の螺肋があって、肋間には細かいヒダが見られ、濃褐色と乳白色の不規則な雲状の斑紋がある。殻口面は三角形で、殻口の滑層は厚く広がり橙紅色。内唇縁はヒダが多く、外唇は淡褐色の帯状の模様があって、外唇内縁の歯状のヒダは白色。水管は深く切れ込む。殻は各層により色彩が異なり、ギリシャ時代からカメオ彫刻の材料として利用され、カメオはイタリア名産品の一つ。科名のトウカムリは、唐冠の意である。



マンボウガイ



フグリ ウラシマ  
*Cy. testiculus*



ドイトウ トウカムリ  
*Cassis tuberosa*



カエン トウカムリ  
*Ca. flammea*



トウカムリ  
*Ca. cornuta*



モザイク トウカムリ  
*Ca. tessellata*



カエン トウカムリ

TERRITOIRE FRANÇAIS DES AFARS ET DES ISSAS

*Cypraea Pantherina*  
*Cypraecassis Rufa*

PREMIER JOUR D'EMISSION

20F マンボウガイ *Cypraecassis rufa* 中腹足目 トウカムリ科  
9F ヒョウダカラ *Cypraea pantherina* 中腹足目 タカラガイ科

COQUILLAGES  
8 MARS 72  
DJIBOUTI